

江戸川区読書科

読書における見方、考え方を働かせ、読書を通じた探求的な活動を通して生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育成する。

学校教育目標

- ・よく考えくふうする子
- ・思いやりのある子
- ・健康で明るい子
- ・粘り強くやりぬく子

令和元年度の研究をきっかけに、授業等で学校図書館を活用するカリキュラムを作成し、実践することができるようになった。休み時間にも児童自ら学校図書館に足を運び、さらに本に親しむことができるようにする。

学校図書館の目標

学校図書館の活用を通して、読書科を推進し、読書が好きな児童を育てるとともに、豊かな心を育成する。

指導のねらい

- ・学校図書館の環境整備を行い、読書意欲を向上させ、読書の習慣化を図るとともに豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ・進んで本を読み、自分が見つけた疑問について主体的に調べ、学ぼうとする意欲を身に付けさせる。

各学年の重点目標

低	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで本に親しむ。 ・調べたい疑問を見付けることができる。 ・調べたことを比べたり、伝える順番を考えたりすることができる。
中	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の楽しさがわかり、日常的に読書をする。 ・調べたことを比較・分類したり、まとめたりすることができる。
高	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の良さを実感し、読書週間を大切にする。 ・解決したい問題を見付けることができる。 ・収集した情報を整理し、自分の考えを交えて分析することができる。

具体的な取り組み

各教科

- ・各教科と連携させ、学校図書館を活用し、課題解決学習、調べ学習を行う。
- ・読書指導を行い、読書習慣や図書館利用の態度を養う。

読書科

- ・読書科研究で身に付けた教員の資質・能力を指導に活かす。
- ・読書から集めた情報を整理・分析して解決するとともに、自らの考えをまとめ・表現する。

総合的な学習の時間

- ・課外活動等に合わせ、必要な情報の収集および課題の探求や解決を図るために、進んで活用する。

図書委員会の活性化

- ・本の貸し出しや図書館整備の当番。
- ・ポスターによる図書館の利用方法の呼び掛けとポップ作りによるお勧め本の紹介。

読書月間の取り組み

- ・担任や教職員によるおすすめ本の特集
- ・読書目標設定と、担任によるブックトークや読み聞かせ
- ・学校図書館を利用した図書館クイズと図書委員による読み聞かせ

家庭・地域との連携

- ・図書ボランティアによる読み語りの実施。
- ・図書ボランティアと連携し、環境整備や季節のディスプレイ、蔵書点検を行う。